

救援金使途報告

日本赤十字社は、皆様からご協力いただいたスマトラ島沖地震・津波災害の救援金を、災害発生直後の緊急救援及び中・長期的に行う復興支援活動に活かしており、これまでに使用したあるいは使用予定の救援金等の使途を以下に報告します。(2009年9月)

緊急救援・復興支援活動資金内訳

・スマトラ島沖地震・津波災害救援金	98億7,000万円
・日本赤十字社活動資金	7億2,300万円
総額	105億9,300万円

平成16年～20年度の使途実績（緊急救援・復興支援）

◆緊急支援活動(医療救援活動、救援物資の提供や避難所の整備)	17億7,100万円
◆インドネシア、スリランカへの支援	
・家を失った被災者の住宅再建など	30億5,400万円
・地域に根ざした災害対策の推進など	2億6,400万円
・病院再建など保健医療衛生支援	13億6,600万円
・被災した児童や学校への教育資材の提供など	4億7,000万円
・被災国赤十字社の救援・復興体制の整備など	6,300万円
・復興事業の調査・要員の派遣など	10億3,100万円
◆その他の被災国への国際赤十字を通じた支援	9億1,600万円
◆アジア・太平洋地域の広域救護倉庫建設など	5億2,300万円
◆事業運営に要する事務的経費	1億3,900万円
計	95億9,700万円

平成21年～22年度の使途計画（復興支援）

◆インドネシア、スリランカへの支援	
・家を失った被災者の住宅再建など	3億5,100万円
・地域に根ざした災害対策の推進など	1億2,200万円
・病院再建など保健医療衛生支援	1億3,200万円
・被災国赤十字社の救援・復興体制の整備など	1,500万円
・復興事業の調査・要員の派遣など	2億8,300万円
◆事業運営に要する事務的経費	9,300万円
計	9億9,600万円

※使途計画は、今後の被災地の情勢変化等により変動することがあります。